

検査項目説明書（処方箋掲載項目）

	項目名称 略語	基準値 単位	検査項目の説明
血糖	ヘモグロビンエーワンシー HbA1c	4.6-6.2 %	糖尿病の診断や血糖コントロールの指標に用いられ、過去1~2ヶ月の平均の血糖値を反映します。
肝機能	アスパラギン酸アミノ トランスフェラーゼ AST	13-33 U/l	肝臓、骨格筋、心筋、赤血球に含まれる酵素です。肝疾患や心疾患で上昇します。
	アラニンアミノトランス フェラーゼ ALT	8-42 U/l	主に肝臓に存在する酵素です。肝疾患で上昇します。 ASTとALTが共に高く、ALTがASTより高い場合は慢性肝炎や脂肪肝が疑われます。
	γ-グルタミントラン スペプチダーゼ γ-GT	10-47 U/l	肝臓や胆道に障害があると血液中に出てくる酵素です。 アルコール性肝障害や胆汁うっ滞の指標となります。
	総ビリルビン T-BIL	0.3-1.5 mg/dl	血液中の赤血球の赤い色素が代謝されてできる黄色の色素で、間接型と直接型の和です。 肝臓や胆管に障害が起きると上昇し、黄疸が生じます。
蛋白	アルブミン ALB	4.0-5.0 g/dl	肝臓で作られるタンパクです。栄養障害や肝機能障害で低値となります。
脂質	中性脂肪 TG	38-207 mg/dl	体にとって効率的なエネルギー源で余分なエネルギーは中性脂肪として蓄えられます。 増えすぎると動脈硬化の危険因子となります。
	LDLコレステロール LDL-C	60-140 mg/dl	コレステロールを全身に運びます。動脈硬化の危険因子です。 高値が続くと心筋梗塞などの冠動脈疾患の原因となります。
腎機能	尿素窒素 UN	8.0-22.0 mg/dl	タンパク質の最終産物で腎臓から排出されます。 腎機能が低下すると血中の値が上昇します。
	クレアチニン CRE	男 0.6-1.1 女 0.4-0.7 mg/dl	尿素窒素と同様に老廃物の一種です。血中での上昇は腎機能障害です。
	推定糸球体濾過量 e-GFR	ml/min/1.73m ²	腎臓の糸球体で作られる原尿量を血清クレアチニン、性別、年齢から日本人にあわせた式により計算します。低値になると腎機能障害が疑われます。（18歳未満は対象外です）
心機能	クレアチンキナーゼ CK	男 62-287 女 45-163 U/l	心筋や骨格筋に存在する酵素です。急性心筋梗塞や筋疾患で上昇します。
電解質	ナトリウム Na	138-146 mmol/l	水分やミネラルのバランスをみることができます。 バランスが崩れるとさまざまな症状が引き起こされます。
	カリウム K	3.6-4.9 mmol/l	
炎症	C反応性タンパク CRP	0-0.3 mg/dl	炎症により増加する急性反応物質です。細菌感染症、自己免疫疾患で上昇します。
血球算定	白血球 WBC	3.3-8.6 千/μl	白血球の数を表します。感染症や炎症で高値となります。
	ヘモグロビン Hb	男 13.7-16.8 女 11.6-14.8 g/dl	赤血球の中にあるタンパクで、酸素を運搬します。基準値より低い場合は貧血が疑われます。
	血小板 PLT	15.8-34.8 万/μl	血小板の数を表します。減少すると出血しやすくなり増加すると血栓ができやすくなります。
凝固	プロトロンビン時間 PT PT-INR	9.0-13.0 秒	出血した時に血液が固まるまでの過程の異常を調べる検査です。止血機能に関わるタンパクは肝臓で作られるため肝臓の機能を調べる時にも検査します。PT-INRはワーファリンの治療効果を判定するために用いられ、目標とする値は疾患により異なります。
尿	蛋白	(—)	尿中に蛋白が出ているかを調べます。腎疾患で(+)になります。